

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会 毎年6月下旬

単元株式数 1,000株

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所  
JASDAQ(スタンダード)

	証券会社等に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座を お持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物 送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問 い合わせ先	お取引の証券会社等 になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取り方法 の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店、営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金 のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行につ いては、右の「特別 口座の場合」の郵 便物送付先・電 話お問い合せ先 ・各種手続お取 扱店をご利用く ださい。	特別口座では、単元未満株 式の買取以外の株式売買は できません。証券会社等に 口座を開設し、株式の振替 手続を行っていただく必要 があります。

●確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

第 54 期

2014年4月1日 ▶ 2014年9月30日

## 事業の報告書(第1-2四半期)



NS UNITED NAIKO KAIUN

 NSユニテッド内航海運株式会社

証券コード：9180

 NSユニテッド内航海運株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 大手町ファーストスクエア ウエストタワー 22F  
TEL 03-6895-6500(代表) FAX 03-6895-6555  
<http://www.nsu-naiko.co.jp/>



本冊子は、環境保全のため  
植物油インキで印刷してい  
ます。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 濱田 美

## 目次

株主の皆様へ	1
セグメント別の状況	3
ハイライト情報(連結)	4
連結財務データ	5
TOPICS	7
会社概要	8
株式の概況	9

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成26年10月1日、社名を「新和内航海運株式会社」から「NSユナイテッド内航海運株式会社」に変更いたしました。今後はNSユナイテッド海運グループの一員として、決意を新たに社業の一層の充実、発展に努めてまいり所存でございます。

さて、ここに第54期第1-2四半期事業の報告書をお届けし、当社グループの業績等についてご報告申し上げます。

当中間期の日本経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景として一部製造業の業績に改善が見られる一方で、天候不順や個人消費の回復遅れ、輸出の伸び悩みなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループの中核である内航海運事業においては、主要荷主である鉄鋼メーカーの上半期における全国粗鋼生産量は5,556万トンとなり、前年同期と比較して0.5%減となりましたが、当社の鉄鋼関連貨物は全体で前年同期比約8%輸送量が増加しました。セメント関連貨物はセメント需要が減少したことにより前年同期と比較し、約7%輸送量が減少しました。また

電力関連貨物は、火力発電所の稼働状況停滞の影響で前年同期比約5%輸送量が減少しました。その他一般貨物の荷動きは一部天候不順の影響を受けたものの、全体的には堅調で、前年同期比約4%輸送量が増加しました。このような環境の中、効率配船、コスト削減に努めましたが、燃料油価格の高止まり等の影響もあり、業績は前年同期比で減益となりました。

港湾運送事業については、東日本大震災の復興需要を中心に公共事業や鉄鋼関連向け需要も堅調で、取扱業務量は前年同期を若干上回る水準で推移しました。

また、LPGタンクローリー等輸送事業は、LPG・石油製品ともに需要減少の影響を受け、輸送量は前年同期を若干下回る水準で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当中間期の連結の業績は、売上高110億45百万円（前年同期比9億39百万円増）、営業利益5億35百万円（前年同期比3億75百万円減）、経常利益5億13百万円（前年同期比3億69百万円減）、四半期純利益3億11百万円（前年同期比3億26百万円減）となりました。

第3四半期以降の見通しにつきましては、国内需要の高まりによる企業収益の好転、円安水準による輸出環境の改善・生産の増加により緩やかな景気回復が見込まれます。一方、円安により燃料油などを含む輸入物価の上昇が懸念されます。こうした状況のもと、当社グループの中核である内航海運事業においては、鉄鋼メーカー向け輸送ニーズに的確に対応し、また、堅調なセメント関連輸送と、公共性が高い石炭火力発電関連輸送に引き続き注力するとともに新規輸送にも積極的に取り組んでまいります。

当社グループの平成27年3月期の連結業績見通しは、平成26年4月30日に公表しました連結業績予想のとおり、売上高217億92百万円、営業利益13億86百万円、経常利益13億30百万円、当期純利益8億2百万円としております。

今後とも、株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

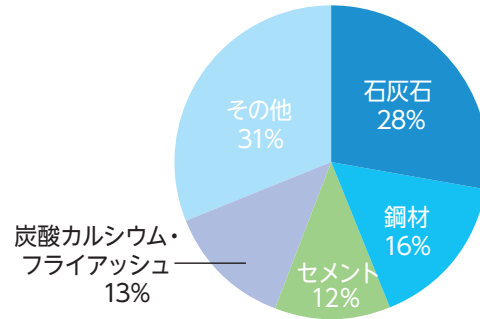
平成26年11月

## セグメント別の状況

### 内航海運事業

主要荷主である鉄鋼メーカーの上半期における全国粗鋼生産量は5,556万トンとなり、前年同期と比較して0.5%減となりましたが、当社の鉄鋼関連貨物は全体で前年同期比約8%輸送量が増加しました。セメント関連貨物はセメント需要が減少したことにより前年同期と比較し、約7%輸送量が減少しました。また電力関連貨物は、火力発電所の稼働状況停滞の影響で前年同期比約5%輸送量が減少しました。その他一般貨物の荷動きは一部天候不順の影響を受けたものの、全体的には堅調で、前年同期比約4%輸送量が増加しました。当中間期の品目別輸送量割合は右グラフのとおりです。

■品目別輸送量割合  
(平成26年度上期)



### その他事業

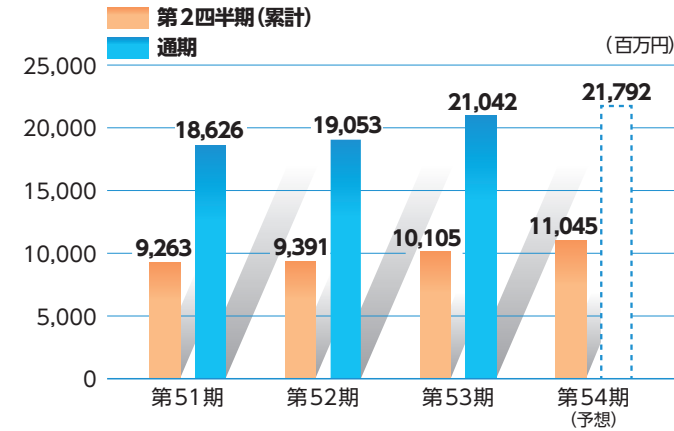
港湾運送事業については、東日本大震災の復興需要を中心に公共事業や鉄鋼関連向け需要も堅調で、取扱業務量は前年同期を若干上回る水準で推移しました。

また、LPGタンクローリー等輸送事業は、LPG・石油製品ともに需要減少の影響を受け、輸送量は前年同期を若干下回る水準で推移しました。

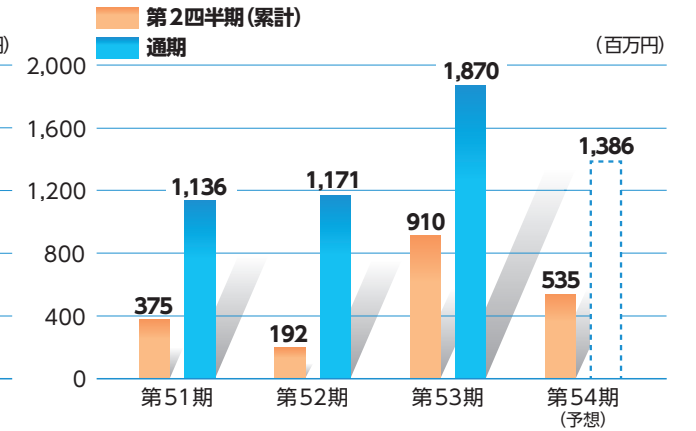
## ハイライト情報(連結)

当社グループの当中間期の連結の業績は、売上高110億45百万円(前年同期比9億39百万円増)、営業利益5億35百万円(前年同期比3億75百万円減)、経常利益5億13百万円(前年同期比3億69百万円減)、四半期純利益3億11百万円(前年同期比3億26百万円減)となりました。

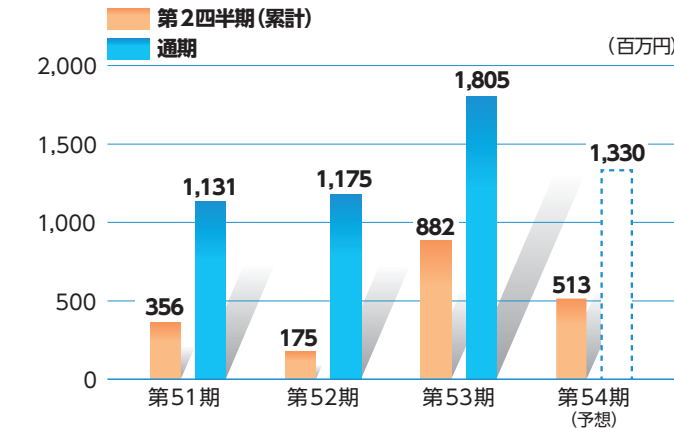
### ■売上高



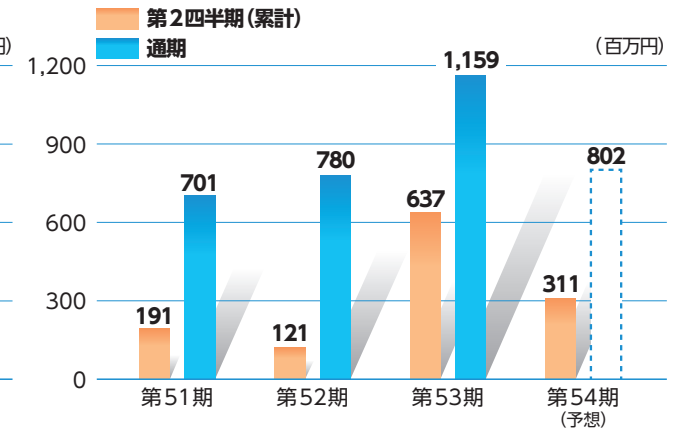
### ■営業利益



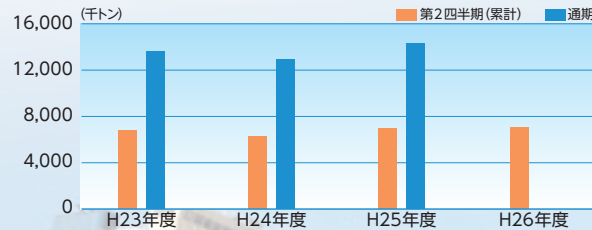
### ■経常利益



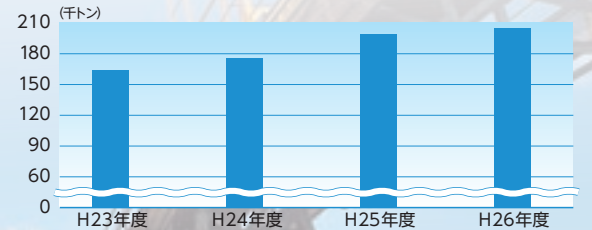
### ■四半期純利益



### 輸送量の推移



### 運航船腹量の推移



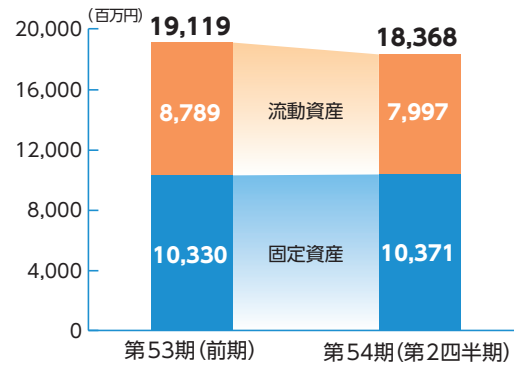
(平成26年9月30日現在内訳)

区分	隻数	重量トン数(K/T)
社船	19	105,406.68
定期用船	54	99,994.00
合計	73	205,400.68

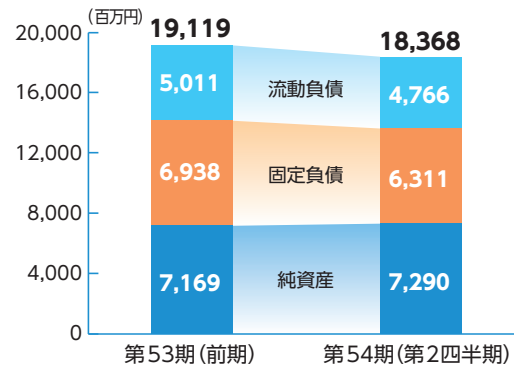
(注) 社船には他社との共有船を含みます。

連結財務データ

■資産の推移



■負債及び純資産の推移



■四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)	前連結会計年度 (平成26年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	7,997	8,789
固定資産	10,371	10,330
有形固定資産	9,525	9,547
無形固定資産	79	101
投資その他の資産	765	681
資産合計	18,368	19,119
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,766	5,011
固定負債	6,311	6,938
負債合計	11,077	11,950
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,162	7,062
資本金	718	718
資本剰余金	308	308
利益剰余金	6,552	6,453
自己株式	△417	△417
その他の包括利益累計額	108	85
その他有価証券評価差額金	140	113
繰延ヘッジ損益	△17	△12
退職給付に係る調整累計額	△14	△15
少数株主持分	19	20
純資産合計	7,290	7,169
負債純資産合計	18,368	19,119

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,045	10,105
売上原価	9,698	8,353
売上総利益	1,346	1,751
一般管理費	810	841
営業利益	535	910
営業外収益	19	15
営業外費用	41	43
経常利益	513	882
特別利益	13	69
税金等調整前四半期純利益	527	951
法人税、住民税及び事業税	198	169
法人税等調整額	18	146
法人税等合計	216	315
少数株主損益調整前四半期純利益	310	635
少数株主利益(△は損失)	△1	△1
四半期純利益	311	637

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	307	970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△488	△1,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	△682	1,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1
現金及び現金同等物の増減額	△863	279
現金及び現金同等物の期首残高	3,065	2,103
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,201	2,382

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 2

営業活動によるキャッシュ・フローは3億7百万円の収入となりました。収入の要因は主として、税金等調整前四半期純利益の計上5億27百万円及び減価償却の実施5億48百万円があった一方、営業債権の増加1億36百万円、営業債務の減少1億5百万円、退職給付に係る資産の増加34百万円及び法人税等の支払い3億69百万円があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4億88百万円の支出となりました。支出の要因は主として、船舶の取得による支出4億24百万円があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは6億82百万円の支出となりました。支出の要因は主として、長期借入金の純減4億57百万円及び配当金の支払い2億15百万円があったことによるものであります。

POINT 1

資産の減少要因は、主として現預金の減少8億63百万円によるものですが、その一方で営業未収金の増加1億36百万円があったことによるものです。負債の減少要因は、主として長期借入金の減少4億57百万円、支払手形及び営業未払金の減少1億5百万円、未払金の減少1億65百万円及び未払法人税の減少1億70百万円があったことによるものです。純資産の増加要因は、四半期純利益の計上3億11百万円があった一方、配当金の支払い2億15百万円があったことによるものです。

# TOPICS

## 新人・中堅船員技術力向上に向けた研修の強化

当社は主要貨物である石灰石や石炭灰、セメント等を安定的かつ効率的に輸送するため、陸上の設備を使用せずに揚荷役を行うことが可能なSUL（セルフアンローダー）装備の各種専用船を運航しています。

特殊荷役設備を有するSUL船は、乗組員にも高度な荷役技術が要求されるため、当社では経験豊富な熟練船員の技能の継承と、中堅船員の技術力向上・新人船員育成のための教育・研修の強化に取り組んでいます。

SUL 装備船



石灰石専用船「君鉄丸」

### ●研修風景



SUL システム勉強会



入渠時安全研修

## 会社概要

### ■会社の概況 (平成26年9月30日現在)

設立年月日 昭和36年5月1日

資本金 718,000,000円

事業目的

1. 海運業	5. 自動車運送取扱事業
2. 陸運業	6. 産業廃棄物収集運搬業
3. 前各号の仲立業	7. 船員派遣事業
4. 前第1号、2号の代理店業	8. 前各号に付帯する事業

本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目5番1号  
大手町ファーストスクエア ウェストタワー 22F  
TEL 03-6895-6500 (代表) FAX 03-6895-6555  
(URL) <http://www.nsu-naiko.co.jp/>

営業所

**室蘭営業所**  
〒050-0087  
北海道室蘭市仲町12 新日鐵住金(株)室蘭製鐵所構内  
TEL 0143-44-4751 FAX 0143-45-2128

**君津営業所**  
〒292-0835  
千葉県木更津市築地1番地1 新日鐵住金(株)君津製鐵所ビジネスセンタービル  
TEL 0438-30-7296 FAX 0438-30-7297

**大阪営業所**  
〒550-0002  
大阪市西区江戸堀一丁目2番11号 大同生命南館7F  
TEL 06-6444-0561 FAX 06-6444-0559

**西日本営業所**  
〒810-0801  
福岡市博多区中洲五丁目6番地20号 明治安田生命福岡ビル9F  
TEL 092-263-8183 FAX 092-263-8184

**大分営業所**  
〒870-0913  
大分県大分市松原町三丁目1番11号 大分鐵鋼ビル  
TEL 097-558-9236 FAX 097-551-7783

従業員数 陸上61名、海上57名、計118名

### ■取締役および監査役 (平成26年9月30日現在)

代表取締役社長	濱田 実
取締役	越智 猛
取締役	迫川 学
取締役	和田 康太郎
取締役	志賀 辰也
取締役	松山 一彦
取締役(非常勤)	高木 一美
監査役(常勤)	佐橋 陽介
監査役(非常勤)	平山 泉
監査役(非常勤)	小山田 充宏

(注) 1. 高木一美氏は、社外取締役であります。  
2. 佐橋陽介氏、平山泉氏および小山田充宏氏は、社外監査役であります。  
3. 当社は、東京証券取引所に対し、監査役佐橋陽介氏および平山泉氏を独立役員として届出ております。



株式の概況 (平成26年9月30日現在)

■株式状況

発行可能株式総数…………… 43,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 11,800,000株  
 株主数…………… 304名

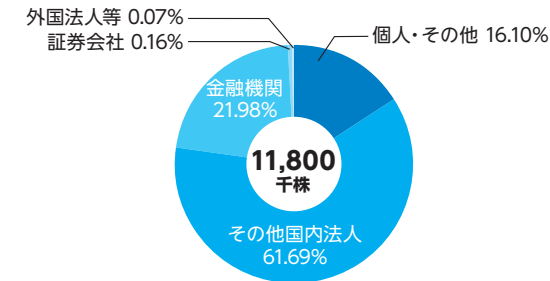
■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
NSユニテッド海運株式会社	6,613	61.37
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託NSユニテッド海運口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,827	16.95
株式会社みずほ銀行	230	2.13
日鉄鉱業株式会社	200	1.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	160	1.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	135	1.25
新和内航海運従業員持株会	124	1.15
新和内航海運取引先持株会	85	0.78
三菱UFJ信託銀行株式会社	70	0.64
株式会社松浦造船所	50	0.46

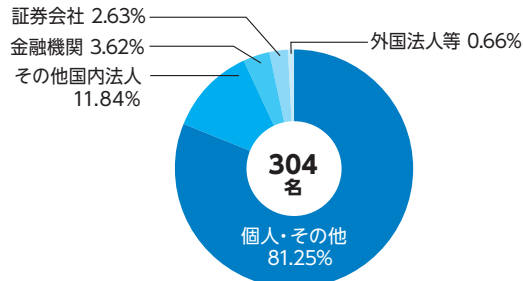
(注) 1. 上記のほか、当社所有の自己株式1,025,825株があり、上記の各持株比率はこれを控除して計算しております。  
 2. 新和内航海運従業員持株会及び新和内航海運取引先持株会は、平成26年10月1日にそれぞれ、NSユニテッド内航海運従業員持株会、NSユニテッド内航海運取引先持株会に名称変更されております。  
 3. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

■所有者別株式分布状況

■株式数



■株主数



(注) 上記の分布作成状況にあたり、株式数・株主数比率は小数点第3位を四捨五入して表示しました。なお、当社所有の自己株式1,025,825株は、個人・その他に含めております。

■企業理念

【経営の基本姿勢】

顧客を第一に考え、顧客のニーズを的確に把握し、安全・確実・迅速を信条に、競争力のある効率的な輸送サービスを提供し、常に顧客の信頼と企業価値を高める経営に努めます。

【社会的使命】

内航海運を代表するオペレーターとして、企業活動を通じて広く社会の発展に寄与し、株主、市場、一般社会から高く評価される企業を目指します。

【安全運航第一】

海難事故ゼロを命題とし常に安全運航第一に心がけ、絶えず高度な運航技術の向上・蓄積に努め、環境保全に配慮した企業活動に取り組みます。

【法令・ルールの遵守】

法令やルールを厳格に遵守し、社会倫理規範のもと誠実かつ公正な企業活動を実践します。

【人権の尊重】

社員にとって魅力に富んだ働き甲斐のある職場環境と、自由で明るく人権尊重の精神に溢れた民主的な企業風土を築いて行きます。

■自社船紹介



セメント専用船  
 「第五芙蓉丸(だいごふようまる)」

本船は、平成6年3月に竣工しました。当社の主力事業であるセメント輸送の専用船として、主に北海道・東北各港を就航しています。

長さ(全長)	98.02m
型幅	16.00m
総トン数	3,568トン
載貨重量トン	5,461トン